

授業科目 救急法実習Ⅰ

【担当教員名】 大滝 弘		対象学年	2	対象学科	ｽｽ*
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】 スポーツ指導者として現場で必要な救急法の実践能力を習得することはもとより、救急法を学ぶことにより指導者として高い安全知識と事故防止に対する能力を身につける。					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】 救急法の理論を正しく理解し、より合理的な実践能力と判断力を養う。 1. 傷病者に対する適切な観察力と判断力を身につける。 2. 傷病者（意識障害、呼吸停止、心停止、大出血、服毒、熱傷）に対しての正しい応急手当ができる。 3. 救急処置（心肺蘇生法、AED、RICE、緊急時の対応）を理解し実践できる。 4. 事故、災害に対する安全知識を身につける。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO	
				番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	救急法の目的とその範囲について				
2	救助者の遵守事項と実施上の注意点				
3	救急処置の基本とショックについて				
4	救急処置（心肺蘇生法 ①理解と手順）				
5	救急処置（心肺蘇生法 ②範囲と重要性）				
6	救急処置（心肺蘇生法 ③気道確保の方法）				
7	救急処置（心肺蘇生法 ④人工呼吸法の生理と実際）				
8	救急処置（心肺蘇生法 ⑤心臓マッサージの生理と実際）				
9	救急処置（心肺蘇生法 ⑥実習 気道確保、人工呼吸、心臓マッサージ）				
10	救急処置（心肺蘇生法 ⑦実習）			・・・	動作、手順テキスト
11	救急処置（心肺蘇生法 ⑧AEDの使用に関する知識と実際）				
12	救急処置（心肺蘇生法 ⑨AEDを使用した一連の実習）			・・・	AED実技テキスト
13	救急処置（心肺蘇生法に伴う副損傷と気道内異物の除去）				
14	救急処置（心肺蘇生法が必要となる特殊な状況、子供に対する心肺蘇生法）				
15	救急処置（手当の基本と心肺蘇生法についての理解）			・・・	期末テスト（理論）
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)		救急法講習教本	日本赤十字社	日赤会館	01/10 ¥1,000 (税込み)
		公認アスレティックトレーナー専門テキスト 第8巻 救急処置		日本体育協会	07/09 ¥3,100 (税込み)
参考書		スポーツ現場における 救急処置のポイント	浅井宏祐	文光堂	98/11 ¥7,350 (税込み)
その他の資料		目で見える救急処置法	東京消防庁	東京法令	04/09 ¥3,990 (税込み)
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席 10%		実技テスト 40%			
		期末試験 50%			